

報告案件2 説明資料

持続可能なまちづくりと都市のレジリエンス構築

資料 「持続可能なまちづくりと都市のレジリエンス構築」

2018. 11. 12 第67回京都市都市計画審議会資料

持続可能なまちづくりと 都市のレジリエンス構築

PIONEERED BY THE
ROCKEFELLER FOUNDATION

100

RESILIENT

CITIES

レジリエント・シティ京都市統括監
藤田 裕之

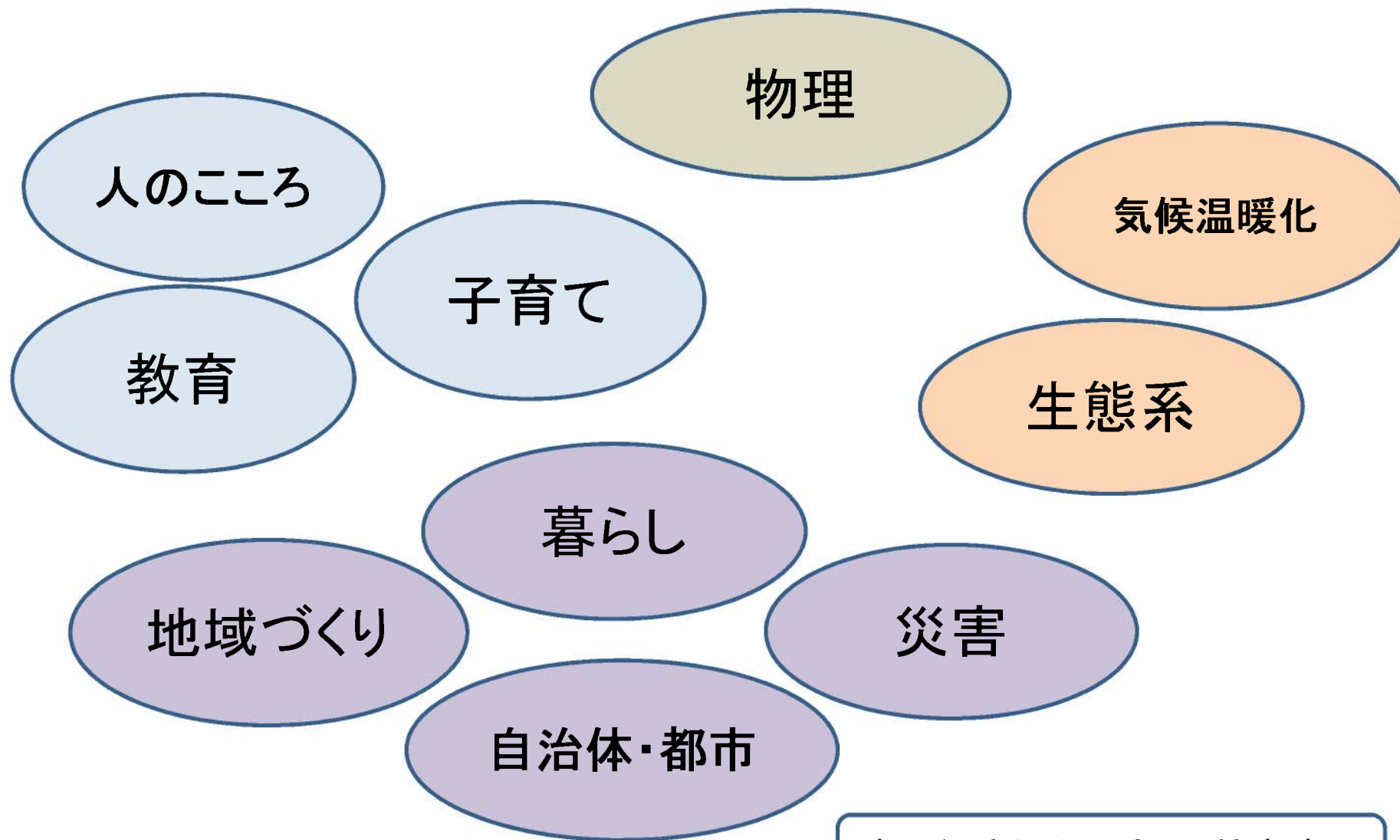
hrfujita@city.kyoto.jp

「Resilience」の語義

- 困難から素早く回復する能力，強靱性 (The capacity to recover quickly from difficulties; toughness)
- 物質や物体が跳ね返って，もともとの形になる能力，弾性 (The ability of a substance or object to spring back into shape; elasticity)
- 複雑かつ変化する環境下での組織的な適応力 (The adaptive capacity of an organization in a complex and changing environment)
- 中断や阻害を引き起こすリスクを運用管理する組織の力 (The ability of an organization to manage disruptive related risk)

⇒近年，「持続可能性」と共に，特に「危機管理」への対応を中心に国際的に広く使用

レジリエンス概念の幅広い適用



予想を超えた近年の大きな出来事

1986年 チェルノブイリ原発事故

1995年 阪神淡路大震災

1997年 京都議定書採択

2001年 9.11ニューヨーク同時テロ

2004年 スマトラ沖地震大津波

2005年 ハリケーン・カトリーナ

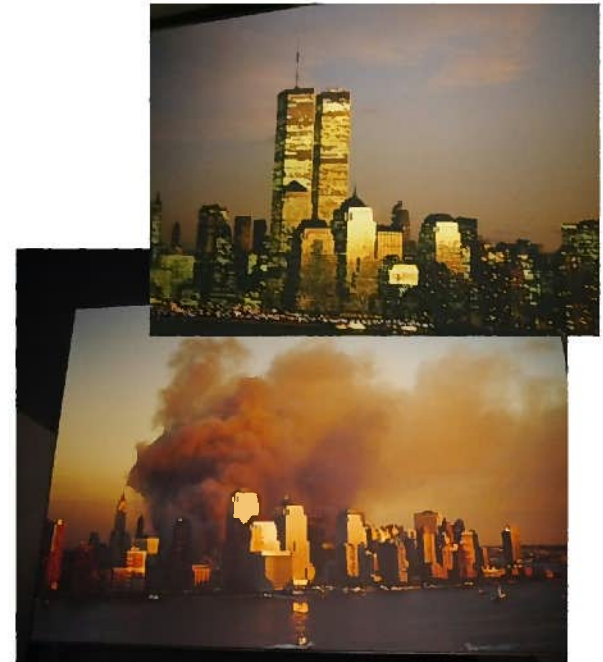
(2012年 ハリケーン・サンディ, 2017年 ハリケーン・ハーヴィー, イルマ)

2008年 リーマンショック

2011年 東日本大震災, タイ大洪水

(2013年 レジリエント・シティ提唱)

2015年 SDGs国連採択, パリ協定採択



奇跡の
一本松



ワールド・トレード・センタービルで生き残った木
(レジリエンス・リニューアル・ホープ)

ダボス会議 での指摘 2013. 1.23～27

適応を必要とする課題、変革の機会

社会のレジリエンスを 強化する

近年の動向が将来の変化の兆候であるとするれば、2013年は世界の安定性に影響を与える様々なリスクを目の当たりにすることになるかもしれません。今日の世界の複雑さ、相互接続性、発展スピードは、こうした見解を実際に裏付けています。しかし、リーダーはすべてのリスクに対処することはできません。そうするには膨大なリソースが必要であり、多くのシステムから相互接続性のメリットを奪うことになるでしょう。

課題はむしろ、システムや社会のレジリエンスを十分に高め、危機から回復できるようにすることにあります。年次総会2013を通じて参加者は、社会のレジリエンスを強化するためにどのような措置が可能かを検討しました。



「輸出はいいが、輸入はだめ
という重商主義的なバリュー
チェーンの考え方は、もう時
代遅れです。」

アレクサンデル・ストロブ
フイッマン・フォン・ホーデル
ヤング・グローバル・リーダー

WORLD
ECONOMIC
FORUM

COMMITTED TO
IMPROVING THE STATE
OF THE WORLD

グローバル・アジェンダ

世界経済フォーラム 年次総会 2013 レジリエント・ダイナミズム

ダボス・クロスタース (スイス) 2013年1月23～27日



我が国における動き ＜強くて、しなやかな ニッポンへ＞

- 「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」制定（2013）→国土強靱化計画（**ナショナル・レジリエンス・プラン**）の制定
- 強靱な国土，経済社会システム
「国土や経済，暮らしが，災害や事故などにより致命的な被害を負わない強さと，速やかに回復するしなやかさを持つこと」



「レジリエンス」と「レジリエント・シティ」

ポキッと折れてしまわない
「心」のしなやかな強さ、
打たれ強さ

物体の
復元力・回復力・弾力性

風水害や著しい環境の変化の中で、生態系が維持・復元・復活する力

強靱（しなやかな強さ）

外的ショックにも内的ストレスにも、粘り強く対処できる、
「持続可能」かつ「創造的」な組織や社会、都市に適用

～レジリエント・シティ～

ロックフェラー財団の提唱による
「世界100のレジリエント・シティ」

- 世界レベルでの著しい「都市化」,「グローバル化」,「気候変動」等を踏まえ,財団創設100周年を記念し,2013年にプロジェクト立ち上げ。
- 「**レジリエンス戦略**」を備えた都市の国際的ネットワークを目指し,2013年~2015年の3ヶ年で,世界100都市を募集
- 世界から1000都市以上が応募し,
日本では**富山市**と**京都市**が選定
- CRO(Chief Resilience Officer)が必置



これまでの経過

- | | |
|----------|--|
| 2013年 | ロックフェラー財団による100RCプロジェクト発足 |
| 同年12月 | 第一期に対し募集(30都市を選定) |
| 2014年12月 | 第二期募集(富山市を含む33都市を選定) |
| 2015年11月 | 第三期募集に対し京都市も応募 |
| 2016年5月 | 京都市を含む37都市を選定し、100都市確定
(応募都市は1000都市以上) |
| 10月 | 100RCプロジェクトメンバーによる門川市長訪問 |
| 2017年2月 | 京都市アジェンダ・セッティング・ワークショップ開催
(市内約100団体が参加) |
| 2017年4月 | 京都市チーフ・レジリエンス・オフィサー(CRO)選任 |
| 同 | 京都市レジリエンス推進本部発足・第1回会議開催 |
| 5月 | キックオフ・ミーティング開催(100RC同席) |
| 7月 | 100RCアーバン・サミット2017(ニューヨーク, CRO出席) |
| 10月 | 京都市レジリエンス推進本部第2回会議開催 |
| 2018年1月 | レジリエント・シティ京都市民フォーラム開催 |
| 4月 | レジリエンス戦略フェーズ2に向けたワークショップ(シンガポール) |
| 7月 | 「京都総合戦略・レジリエンス・SDGs」推進本部第1回会議開催 |

首都27市をはじめとする主要都市

北米(ワシントンDC, ボストン, ニューヨーク, シカゴ, ロスアンゼルス, ピッツバーグ, ミネアポリス, アトランタ, シアトル, ナッシュビル, ホノルル, モントリオール, バンクーバーなど約30都市)

中米・南米(メキシコシティー, グアダラハラ, リオデジャネイロ, ブエノスアイレス, パナマ, サンチアゴなど)

ヨーロッパ(パリ, ロンドン, ローマ, アテネ, リスボン, ロッテルダム, バルセロナ, ミラノ, ベオグラードなど)

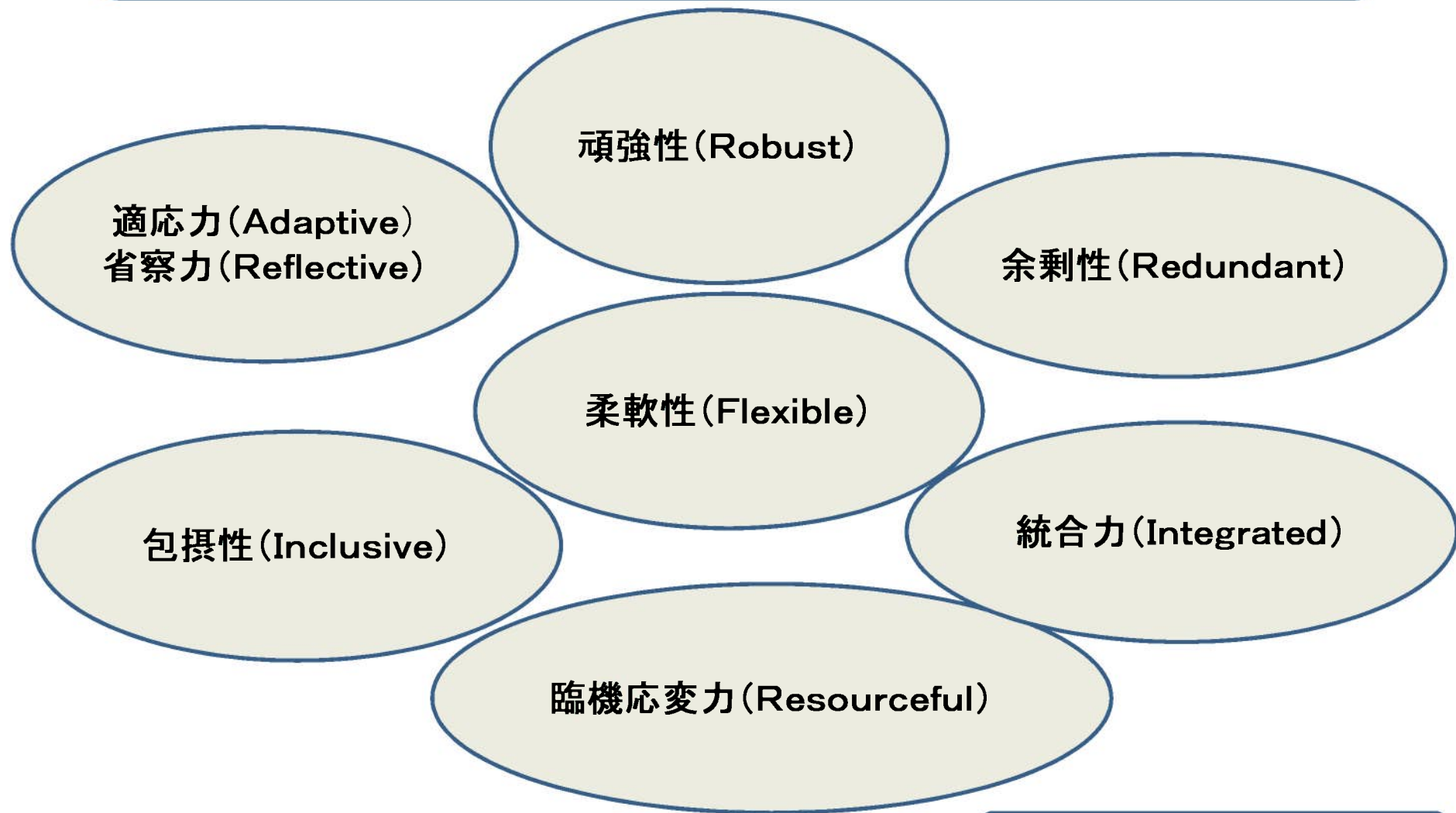
アジア, 大洋州(ソウル, シンガポール, バンコク, ジャカルタ, スラト, 徳陽, ダナン, マラッカ, シドニー, ウェリントンなど)

アフリカ(ケープタウン, ナイロビ, ダカール, アジスアベバ, ルクソール, アクラなど)

<世界歴史都市会議加盟都市・・・15都市>

<発展途上国からも多くの都市>

都市レジリエンスの構成要素



Arup社による定義

京都創生総合戦略・レジリエンス・SDGs推進 本部会議(H30. 7. 4)

＜京都市レジリエンス推進本部(H29. 4. 26発足)＞



市長を本部長に、
副市長，局区長会
メンバーで構成

京都が「世界100のレジリエントシティ」 に選定された意義

- 日本を代表して世界に発信（中央省庁をはじめ、主要都市でも認知度が低い）



- 文化庁の所在地，精神文化の拠点都市
- 世界文化自由都市宣言の都市
- 世界歴史都市連盟の議長都市
- 国際関係における都市間交流の重要性

実績を挙げれば国際的な評価がさらに増大！
＜ビジネス・産業，留学生，観光，文化＞

京都の歴史は危機と再生の繰り返し

- 平安期, 安土桃山時代をはじめとする震災の克服
- 応仁の乱, 天明等の大火からの復興
- 明治維新の京都策・・・**番組小学校**, 琵琶湖疏水・水力発電, 建都1100年事業・時代祭

明治2年, 我が国の近代公教育の
出発点となる64校を創設
学校・公民館・保健所・消防署・税務署などを
兼ね備えた地域の拠点

＜成功の背景は？＞

緊密な地域コミュニティ, 祭礼や伝統文化, まち衆の伝統への自負,
産業の隆盛・・・**ピンチをチャンスに！**

「レジリエント・シティ」のアプローチの特徴

将来にわたる
地球環境全体
からの視点

都市の
存亡・消滅の
危機に焦点

あらゆる危機
や都市の課題
を想定

地震, 洪水, 異常気象等に伴う災害
テロ, 戦争を含む人的災害
飢餓, 貧困, 疾病などの社会的課題

都市の在り方についての
国際的ネットワークの構築

持続可能な開発目標 (SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えよう 17の目標



2015年
国連で採択

Public Private **Action** for Partnership!!

SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創る

(MDGs (2000年) に国連
で採択

……2015年までに達成を目指す
8つの目標と21のターゲットで構成

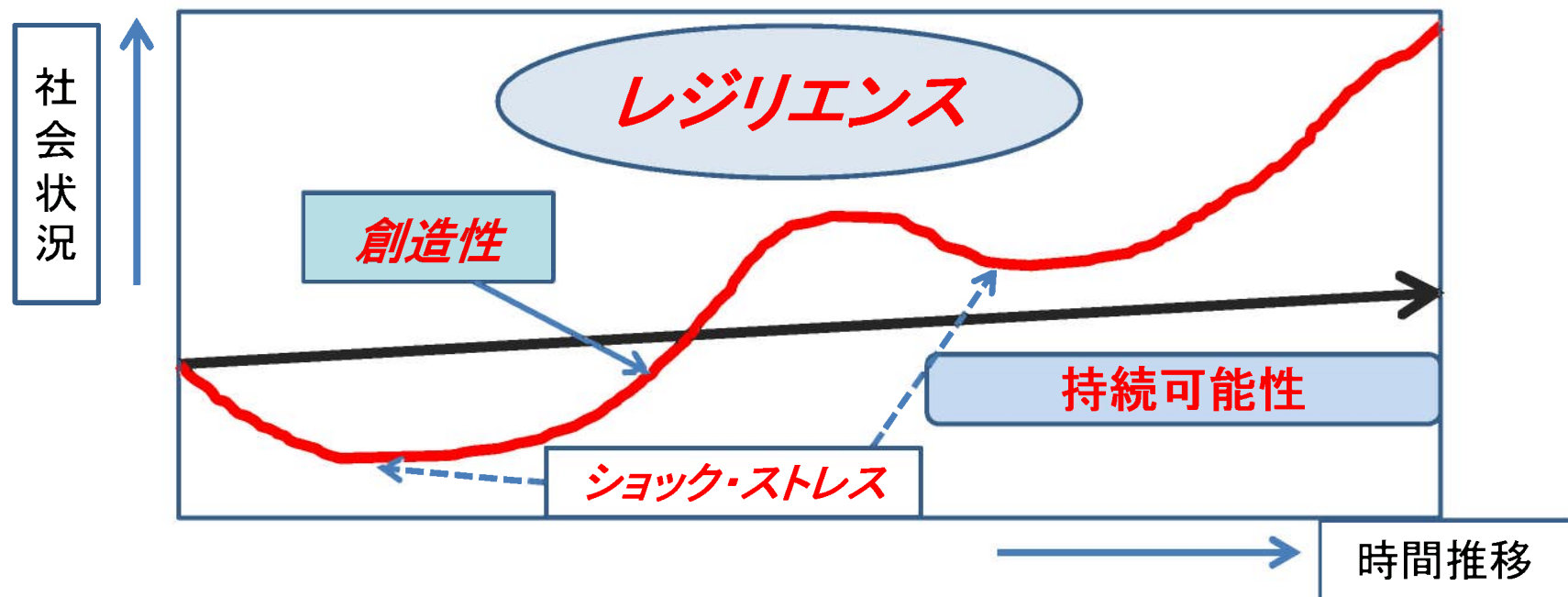


相互に密接に関係するレジリエンスとSDGs

- 「SDGs」が、人権や貧困、差別等も含めて、長期的な側面から持続可能な地球環境を目標として設定しているのに対し、「レジリエンス」は、それらの目標を達成するための方法論として、思考や計画へのプロセス(発想の転換)を重視
- 詳細な目標を掲げる「SDGs」に対して、「レジリエンス」は結果や達成目標ではなく、様々な課題や取組を相互に関連付け、相乗効果をもたらすよう支援する活動や取組に力点を置く
- SDGsの目標の中に、⑨産業と技術革新の基盤(強靱なインフラ構築)、⑪住み続けられるまちづくり(包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現)など、レジリエンスと言う表現が含まれるが、決して包含関係にある訳ではない。
- 「レジリエンス」の特徴は、「想定外」の徹底的排除、あらゆるショックとストレスを念頭においた長期的継続的視点、地球規模での評価、単なる回復に留まらない創造性の発揮を重視する点
- 総じて、SDGsは国家主導型の課題を多く含む

「持続可能性」と「レジリエンス」 (Sustainability) (Resilience)

- あらゆる事象を「想定外」とせず, いかなるダメージに対しても, 粘り強さをバネに, 現状以上の改善を可能とする仕組みが「レジリエンス」⇒「雨降って, 地固まる」
- 「持続可能性」と「創造性」の融合



レジリエンスの対象

＜基本的には「**危機管理**」に関わる全ての事象＞

私たちが今後、直面する危機の背景にあるものは何か？

突然襲いくる 外的ショック

大規模地震，河川の氾濫，テロ攻撃，集団感染など

じわじわと忍び寄る 内的ストレス

気候変動，環境汚染，人口減少（急増）・少子高齢化，地域コミュニティの希薄化，貧困・経済格差，犯罪の増加，失業・非正規雇用など

＜決して狭い意味の「**自然災害**」に特化した概念ではない！＞

＜災害対応の概念を広げる視点ともなる！＞

そのために、何が必要か？

先行き不透明で 前例のない社会への突入

右肩上がり・経済成長の継続⇒**右肩下がり・縮小社会への突入**

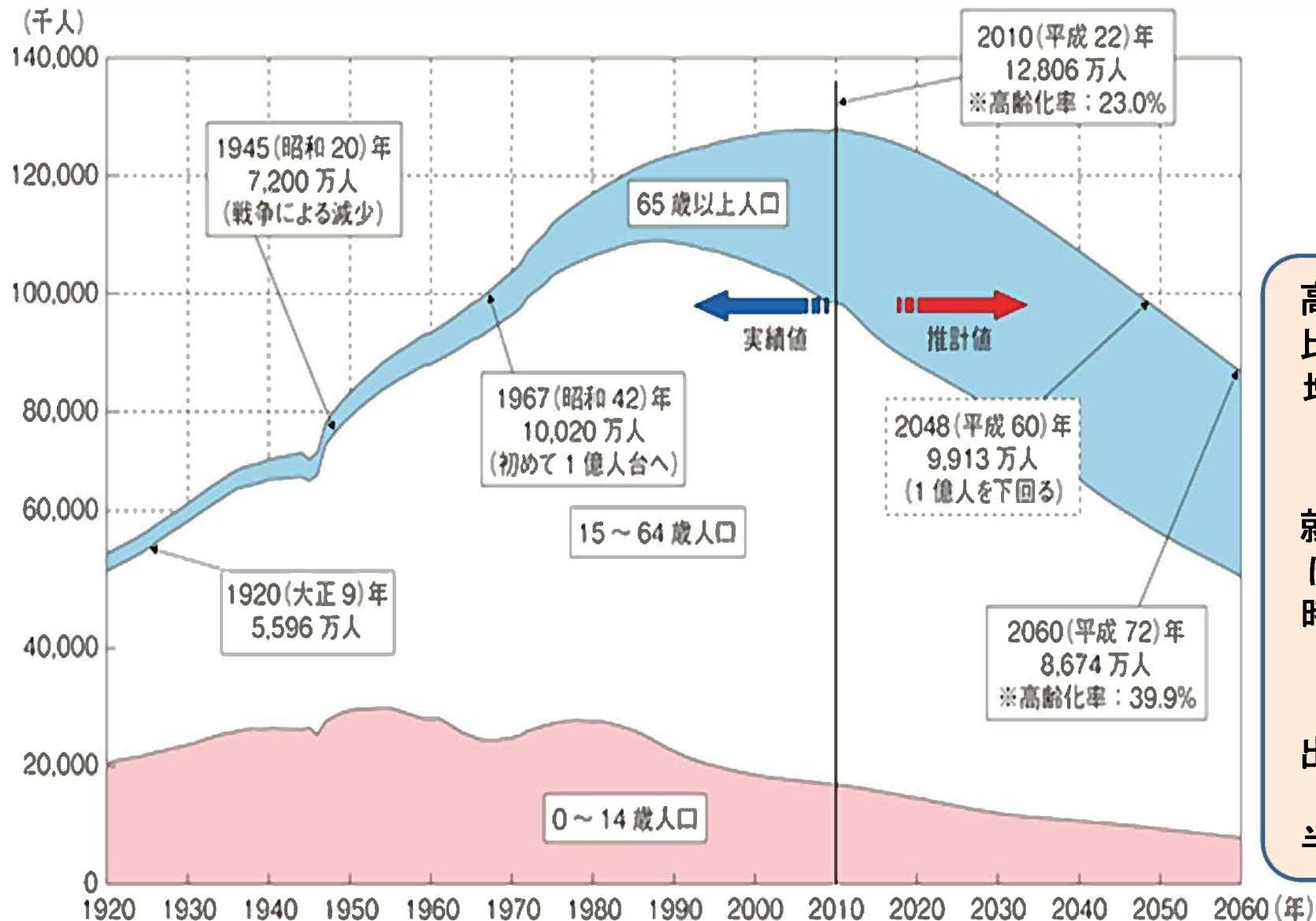
物質的豊かさ・利便性の優先⇒**新たな価値観, 幸福感の創造**

安心安全な社会⇒**大規模災害, 異常気象, テロへの不安への対応**

～大胆な改革・発想の転換が必要～
キーワードは「**レジリエンス**」

人口減少社会の何が問題なのか？！

高齢化率の上昇と少子化の同時進行・・人口比率の歪化

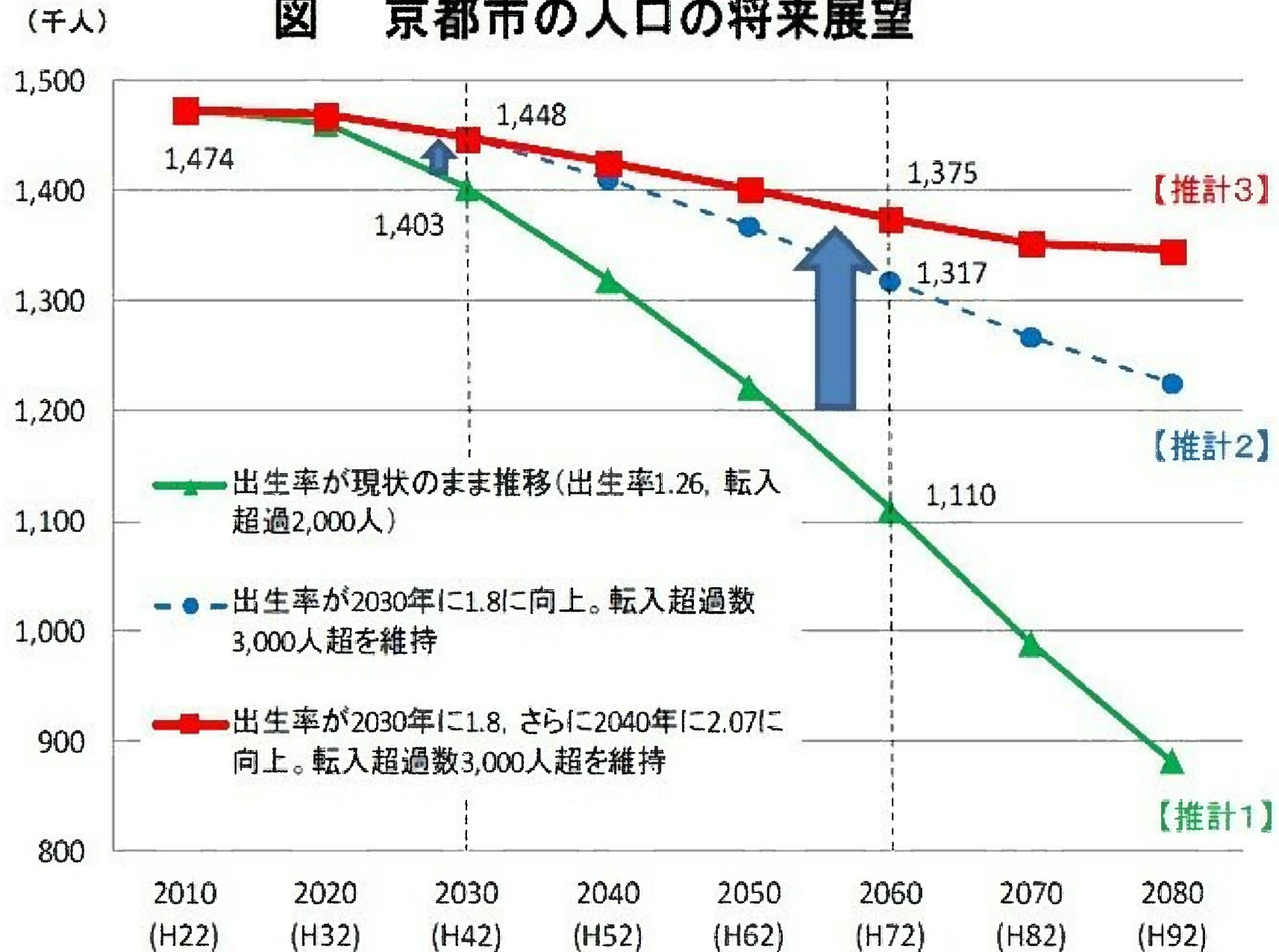


高齢者の
比率は微
増傾向を
維持

就労人口
はピーク
時に比べ
半減！

出生数は
昨年の
半分に！

図 京都市の人口の将来展望



都市のレジリエンス構築の視点

都市が、既に直面し、今後も遭遇しうる
「外的ショック」「内的ストレス」双方のリスクに対して

- あらゆる危機や困難を乗り越え、20年先、50年先も、
魅力ある地域、都市、社会であり続けるため、
 - ① 最大限の危機回避システムの構築に向け
 - ② 徹底した「施策の融合」と「市民参画」のもと
 - ③ 「前例主義」や「想定外」を排除し
 - ④ ピンチをチャンスに切り替える発想の転換により
 - ⑤ 「持続可能性」、「回復力」、「創造性」を内包しつつ
 - ⑥ 組織、社会、環境、経済等あらゆる視点で

現時点で講じる限りの対応・準備を行う

施策の融合・・・縦割り行政の徹底的排除

＜例・・・持続可能な都市の構築に向けた取組＞

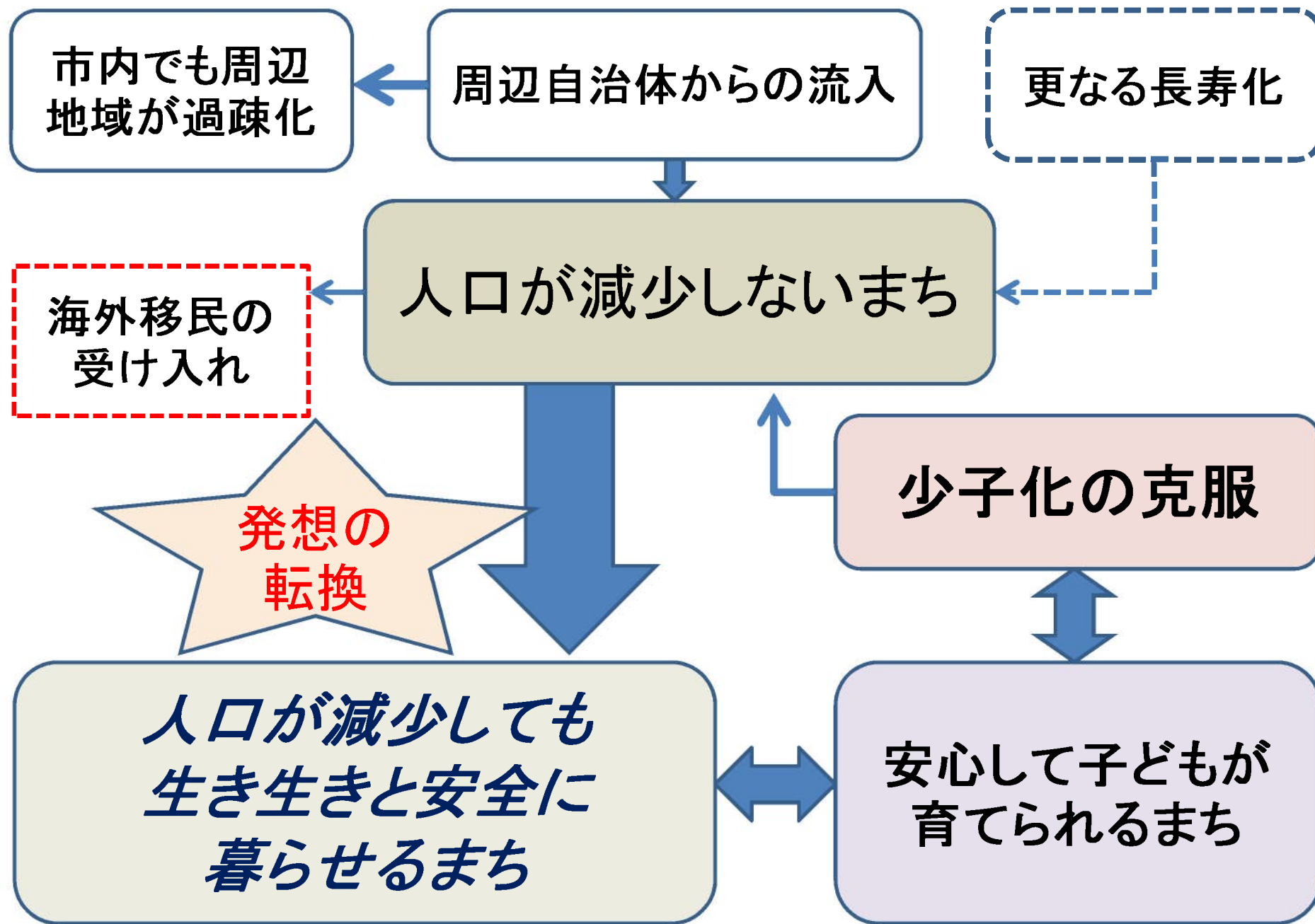
都市計画における子育て支援・地域コミュニティ活性化・健康長寿・災害対応・経済活性化・伝統文化等との関係性・相乗効果の確立

市民参加・・・当事者意識の形成, 行動の共有

前例主義の打破・・・徹底した意識改革, 創造性発揮

想定外の克服・・・あらゆる危機への柔軟な対応

ピンチをチャンスに・・・発想の転換, 楽観主義



地域活動担い手の高齢化
新しいメンバーの発掘

地域の過疎化
空き家・老朽家屋増加
新たな活用スペース

就労人口減少
地域人口の増加

防災・減災力の低下
学生・女性の活躍

ピンチを
チャンスに！
人口減少・
少子高齢化
の影響は
確かに大きい
が...

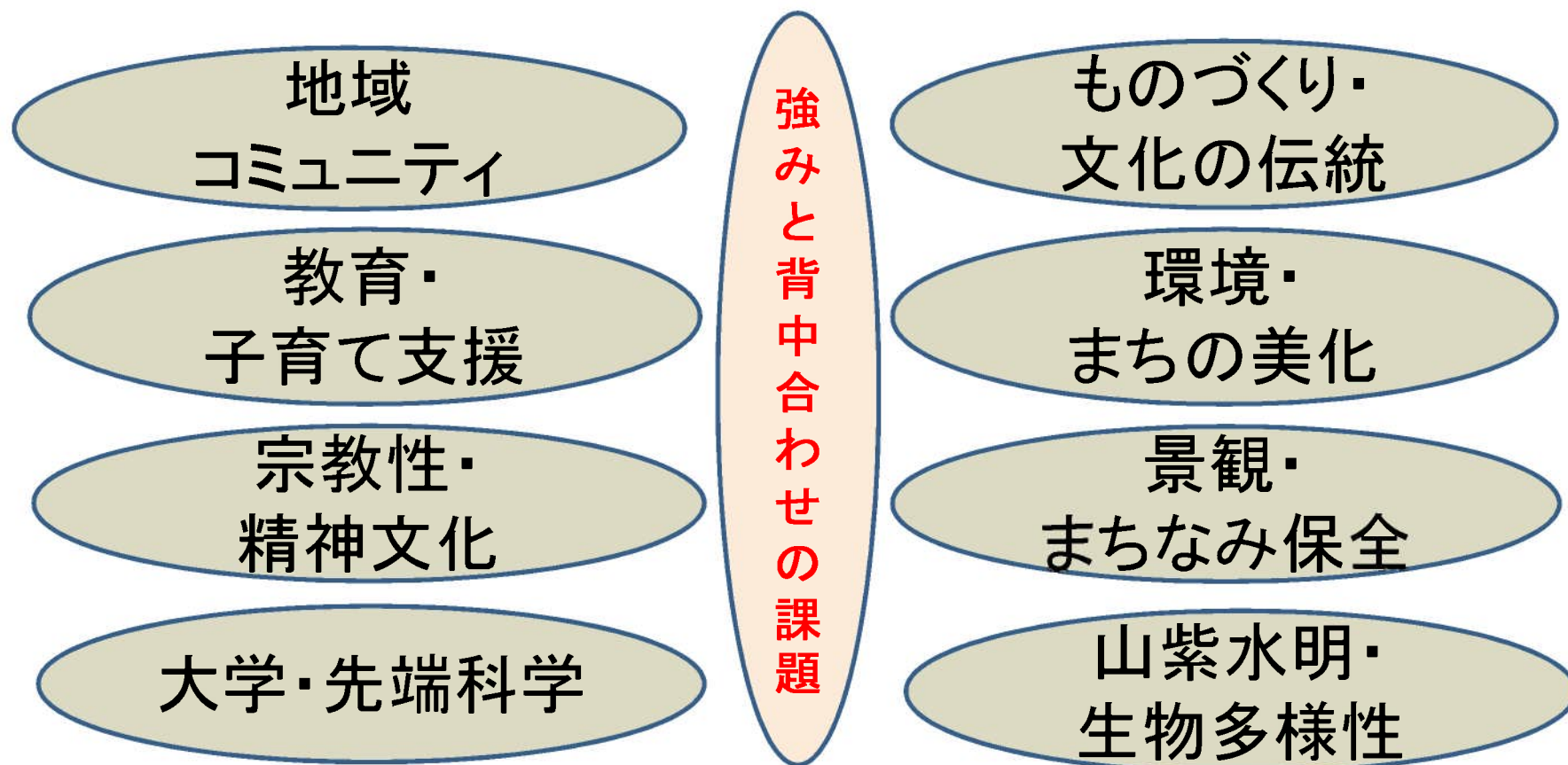
ものづくり,
農林業・商店街の
担い手不足
イノベーション

子どもの減少
学校規模の
縮小
密度の濃い教育

自治体規模縮小
職員削減
AIの導入, 効率化

文化・芸術・伝統の後
継者不足
新たな価値観の創造

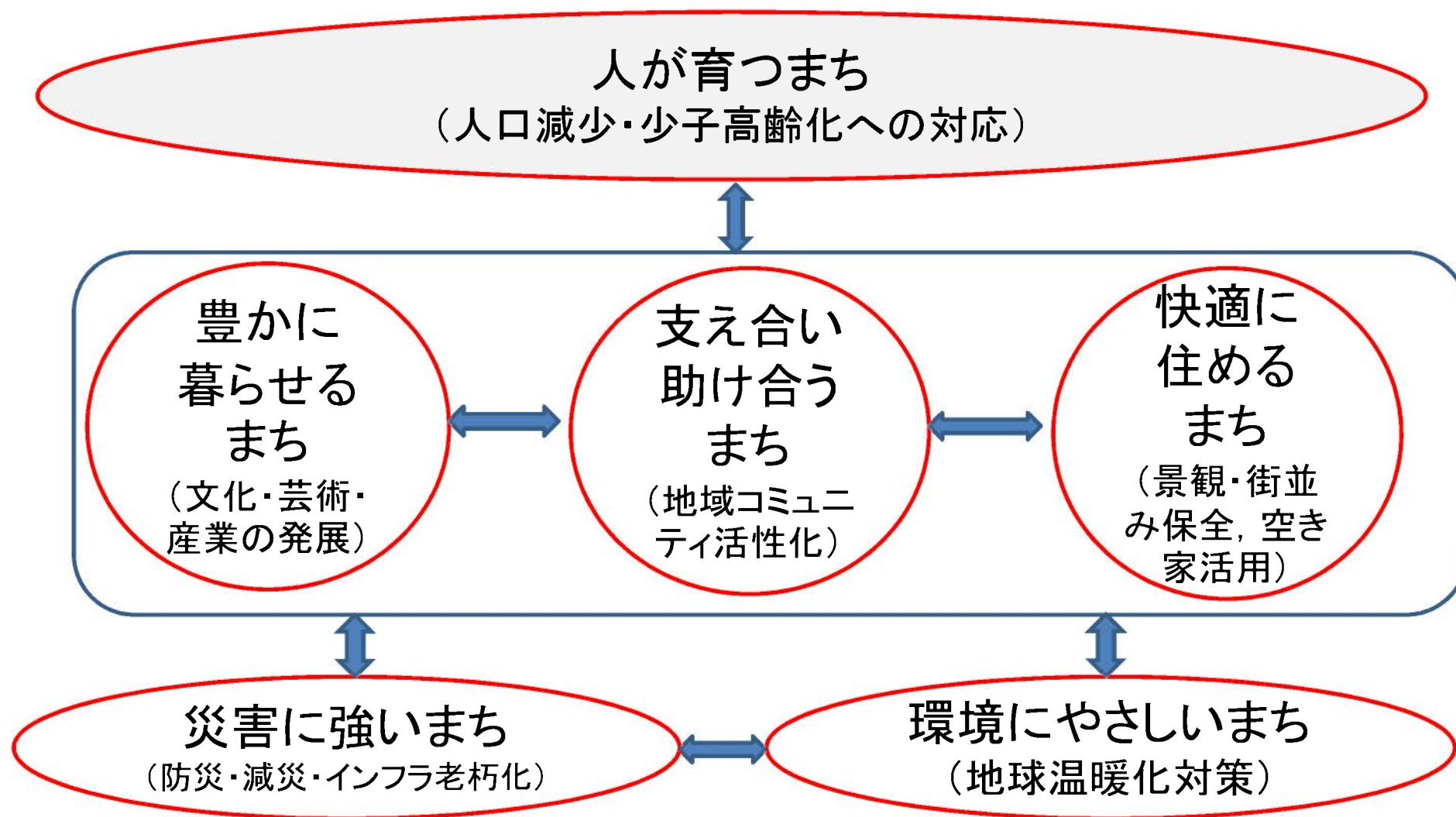
危機を乗り越えるための京都の潜在的強み



生活に息づく「暮らしの美学」「生き方の哲学」

京都市におけるレジリエンス構築への課題

20年後, 50年後の社会状況の変化を先取りするとともに,
密接に関わるそれぞれの課題の隙間を埋める作業



既存（現在策定中）の関連計画等の総合的推進

人が育つまち

未来こどもはぐくみプラン

健康長寿・笑顔のまち・推進プラン

支え合い助け合うまち

地域コミュニティ活性化推進計画

豊かに暮らせるまち

文化芸術都市創生計画

京都・地域企業宣言

快適に住めるまち

持続可能な都市構築プラン

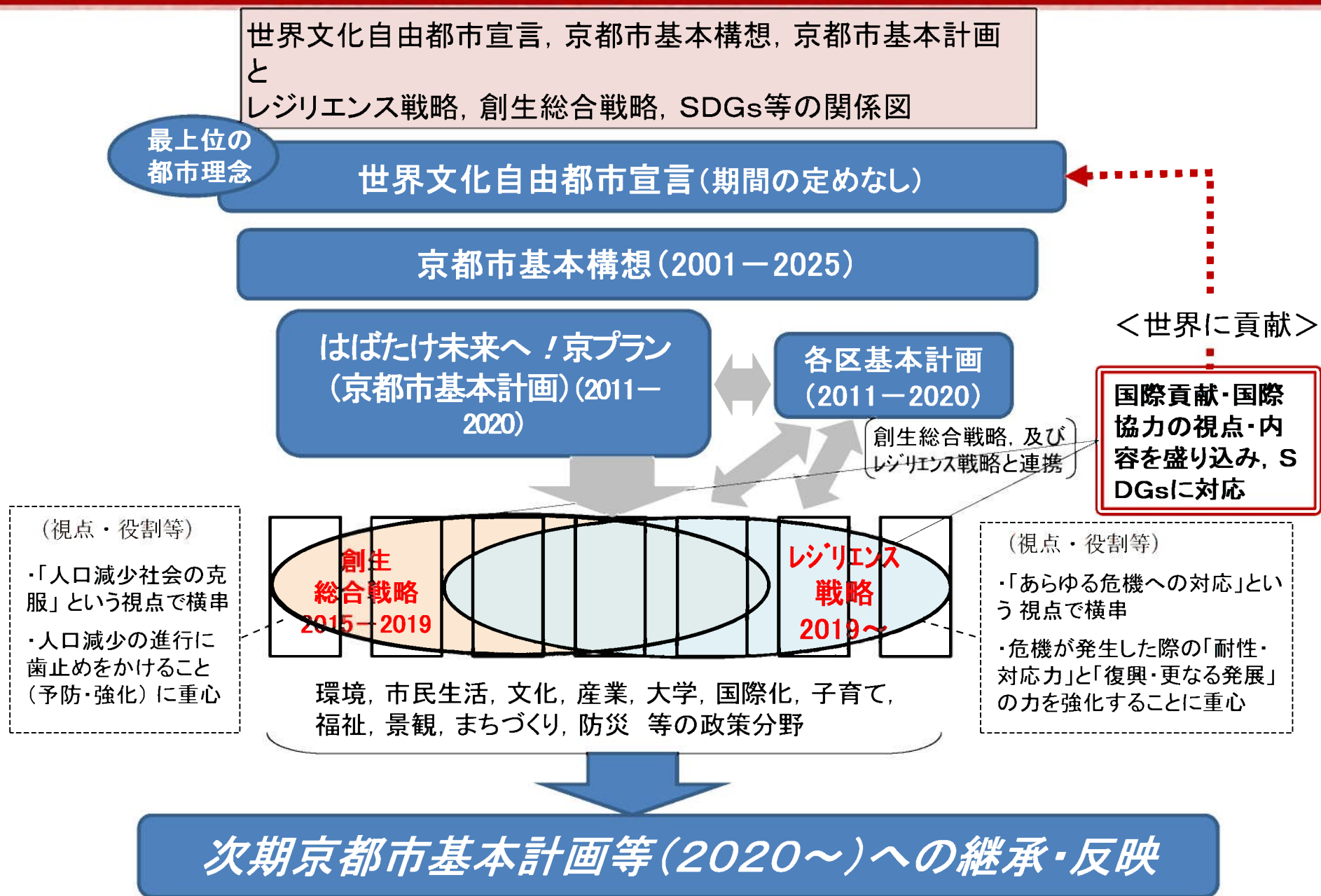
環境にやさしいまち

持続可能な都市文明を目指す京都宣言

災害に強いまち

国土強靱化地域計画

京都市におけるレジリエンス戦略策定の意義(創生総合戦略・SDGsとの融合の視点含む)



～むすびに～
社会全体のレジリエンスに向けて

- 「地球の支配者」からの脱却
⇒人にも社会にも自然にも優しいライフスタイルの実践
- 「自分さえ良ければ！」「今さえ良ければ！」の克服
⇒施策の融合， 想定外の排除
- レジリエンスは与えられるものではない
⇒当事者意識， 参画意識を持った

市民ぐるみのまちづくり運動

レジリエントな社会は，レジリエントな市民・団体が集い，活動し，育つまち！

～ライフスタイル・施策・組織・運動の総点検～